

夢中熱中青春ライフ!

7回記念マラソン

13

大館走友会

周囲の景色を後にしながら黙々と続けるランニング。今回は、健康のためにみんな楽しく走っている大館走友会をご紹介します。会長の武田佐太郎さんからお話を伺いました。

だれにでもできる健康法

会ができたのは昭和五十年です。すから、もう十七年になります。走ることにはだれにでも気軽にできる健康法ということ、全国的にブームになったことが、会ができたそもそものきっかけなんです。現在、会員は三十歳代から八十歳代まで四十三人。会社員、公務員、自由業、主婦など職業はいろいろで、鹿角市、比内町、田代町、小坂町の人も



志賀高原マラソン大会参加の武田会長(右)

梅マラソンやタートルマラ

います。ふだんのトレーニングは仕事などの都合に合わせて各自好きなようにやっています。毎月第三日曜日を例会日にしてます。例会日には、鳳鳴高校前へ午前十時に集合し、その日のコースを決めてみんなで走ることが多いんですが、時々集合場所を変えたりしています。十和田湖へ移動しての一泊二日というのもありましたよ。

例会のほかには、八月の二時間持久走、十月の完走大会、元旦マラソン大会を主催したり、一万本桜健康マラソン大会の運営をしたりしています。また、大会にも参加していて、県内で開催される大会はもちろん、東北での大会のほとんどには家族連れで行って楽しんでます。六十歳代、七十歳代の人の中には、青



今年の総会に集まった皆さん (前列右から3人目が武田さん)

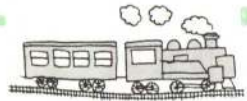
ソソなど、全国規模の大会の常連もいますよ。

無理せずマイペースで

会員のはほとんどは競技経験のない素人です。平均年齢も五十九歳と高いですから、会員の親ぼくと健康維持を図ることを大切にしています。いろいろな大会に参加していますが、走ることに好きな多くの仲間とコミュニケーションを図ることが目的ですから、勝敗は二の次です。決して無理をしないで、自分の体調に合わせたペースで走るように心掛けています。

皆さん、健康のために走ってみませんか。大館走友会への加入は、いつでもだれでも歓迎します。連絡は、武田(☎4213882)までどうぞ。

八戸発 → 大館着



前略

大館市民になりました

14

▽今回は桜町の阿部雅志さんご一家です。
Q・ご家族は何人ですか?
私と妻と子供二人の四人です。上の子は第一中学校の二年、下の子は城南小学校の五年です。
Q・どちらから転入されましたか?
今年の四月に青森県八戸市からです。大館に来てまだ一カ月と少しです。
Q・大館の印象はいかがですか?
内陸の盆地で、出身の盛岡と似た感じがですけど、川はこちらの方がずっときれいです。下の子は釣りが好きです。早速行ってきました。それから、桂城公園の桜まつりのとき秋田犬の展覧会を見ました。大きくて立派な犬ですね。

Q・食べ物や言葉などでとまどいはありませんか?
今までの勤務先が苫小牧、青森、八戸と海辺ばかりでしたから、魚などの種類が少ないのではと心配してたんですが、値段は少々高いけれど、思ったよりは多くあります。言葉は、隣の県出身ですからほとんど分かれます。早口ですね。
Q・大館にどんなことを望みますか?
駅前整備と市内の道路の整備です。特に駅前は、観光客がその都市をイメージする目安になりますから、それと、若い人が遊べるレジャー施設があれば、大町なんかもっと人が出ると思っています。



雅志さんと満里子さん、長男智矢くん(右)と三男健吾くんです